

# ICT 教材活用のための研修会 & 地域に根ざした日本語支援を考える研修会



2020年1月26日(日)に、第2回ボランティアステップアップ学習会を開催しました。今回は、公益財団法人兵庫県国際交流協会と共催で、兵庫県地域日本語教育の体制づくり推進事業を活用しました。午前には、ICT(情報通信技術)を使った日本語学習支援方法を学ぶ研修会を、午後には、ワークショップを通じて日本語教室での各自の活動を振り返る研修会を行い、延べ72名が参加しました。

ICT教材活用では、国際交流基金関西国際センター日本語教育専門員である三宅直子さんを講師にお迎えしました。参加者のみなさんは自身のパソコンやタブレットを持参し、国際交流基金が運営している「JFにほんごeラーニング みなと」という学習サイトの活用方法を教えていただきました。ユーザー登録をすることで学習の進捗状況を管理できたり、多言語の日本語学習教材をダウンロードしたりすることができます。動画なども豊富に用意されていて、日本語学習をより楽しく続けることができそうです。支援者のみなさんには、ぜひこれらの教材を活用し、日ごろの日本語学習支援をさらに充実させていただけたらと思います。

午後のワークショップでは、講師を務めた学習院大学の金田智子先生の著書である「日本語教室をのぞいてみると」を用い、実際の日本語教室でのやりとりを題材に、「なぜ支援者はこんなことを言ったのか」「学習者はこの時どう思ったか」などを、グループごとに話し合いました。出た意見を全体で共有することで、各自の教室活動を振り返るとともに、学習者との対話を豊かにしていく方法を全員で考えました。

「学習者からの質問には、必ず答えないといけない」と考えがちですが、「その場で答えられなくてもいい」「学習者同士で考えるようにしてもいい」「学習者への宿題にしてもいい」と柔軟な対応が提示され、目からうろこでした。

今後も、ボランティアのみなさんのスキルアップをお手伝いできる学習会を実施していきたいと思っています。ご希望のテーマなど、ご提案をお待ちしています！

